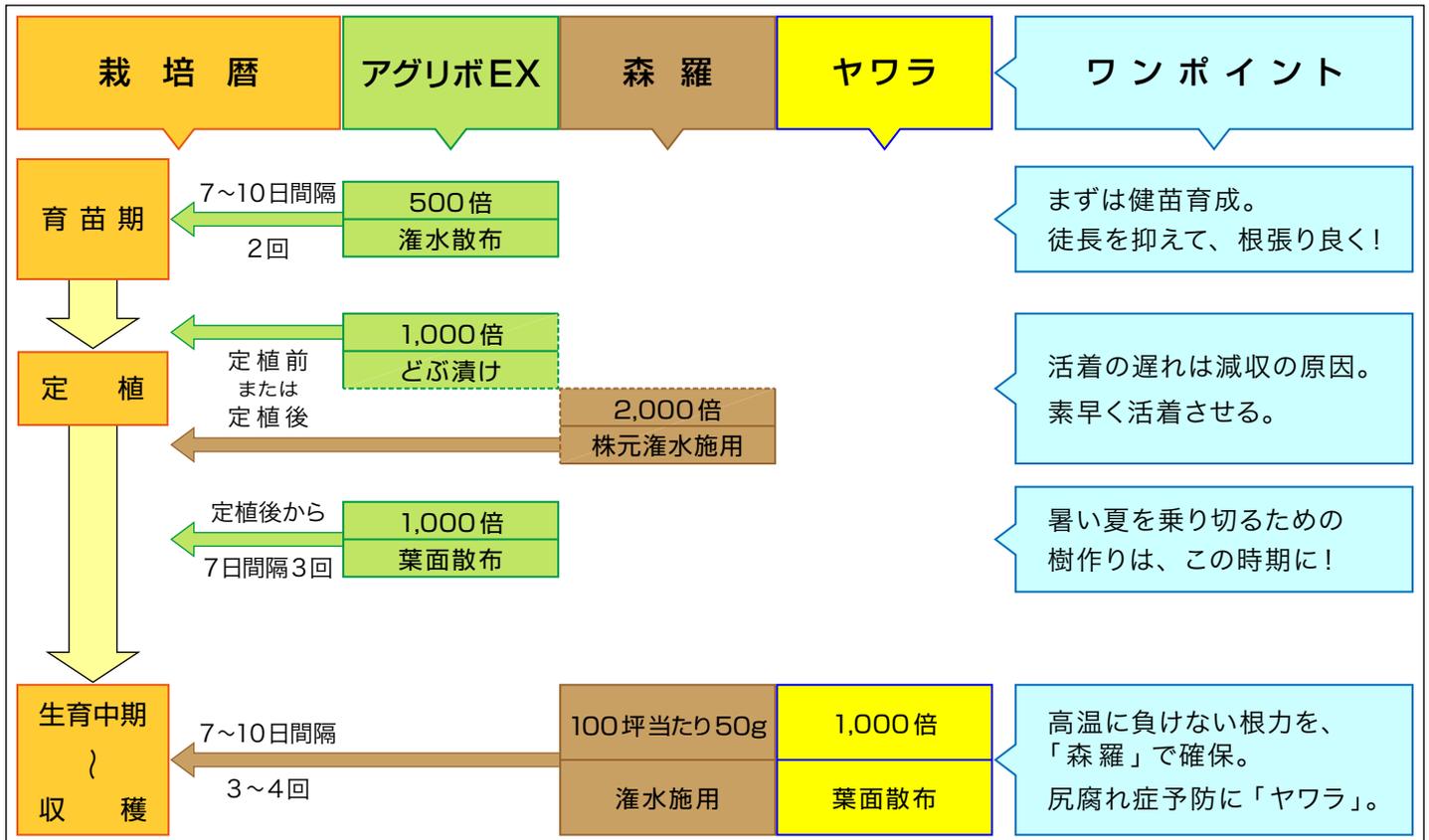


夏秋・抑制トマト

栽培のネックは、夏場の高温と乾燥

活着の遅れは後の生育に大きく影響します。まずは活着促進！
難敵、高温時の着果不良は、地中深く根を張らせ“根力”をつける。



水分変化に強くする！

急な昇温・乾燥で着果不良や尻腐果が起きやすくなり、乾湿の差が大きくなると裂果の原因になります。基本的には“少量多灌水”で水分条件を安定させるのが理想ですが、「森羅」で深く根を張らせておくことで、土壌表面の急激な水分変化に強くなります。

ホルモン剤の単果処理時に、「アグリボEX」を1,000倍

で、ホルモン剤(通常濃度)と混用してください。果実の大きさを揃える効果があります。

萎れに「ヤワラ」混用！

「ヤワラ」は、カルシウム補給で尻腐れ症を予防する効果と、高温/強日射下での萎れを軽減する効果が有ります。「アグリボEX」で樹勢を維持(成り疲れを防止)しながら、3段目が着果したら「ヤワラ」を継続散布して下さい。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328